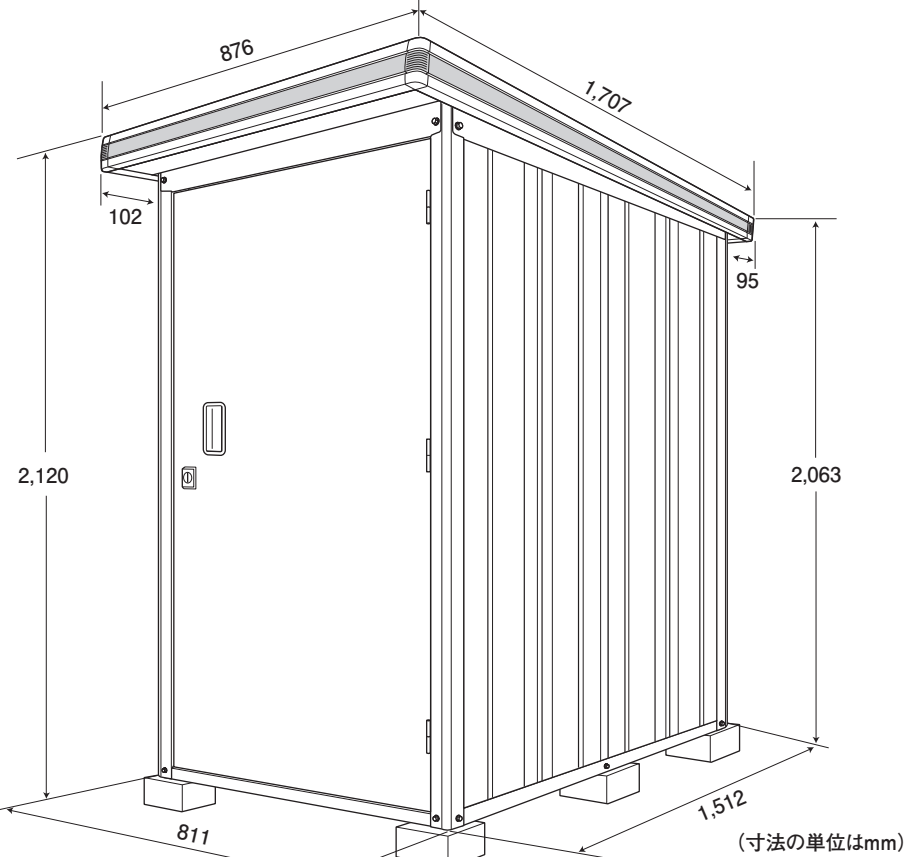


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-0815型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機 種	0815 型
部 品	
上枠前後	LM5-0201
下枠前後	LM5-0251
上枠左右	LM5-0303
下枠左右	LM5-0353
柱	LM5-0401
鼻隠し	LM5-1101
補強	LM5-0502
床	LM5-0711
屋根	LM5-0921
壁	LM5-1004
扉	LM5-1701
棚板	LM5-1901
合計	14

●梱包内容表

●部品 LM 5-0102	●上枠左右 LM5-0303	●屋根 LM5-0921
部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量
ELD 上枠前補強金具 HD 1	ELD 上枠左 A 2.0 1	ELD 屋根 (35) A2.0 2
ステン+薄バインド小ネジ M4 x 10 3(1)	ELD 上枠右 A 2.0 1	
蝶番 B 3		●壁 LM 5-1001
蝶番金具 B 3		部材名 数量
ステン+血小ネジ M4 x 14 6		ELD 壁パネル L-A 1
ELD アンカープレート(L) 4	●下枠左右 LM5-0353	LM 5-1004
鉄アームストッパー小 1	部材名 数量	部材名 数量
+ 血小ネジ M5 x 16 4	ELD 下枠側 A2.0 (左) 1	ELD 壁パネル L-A 4
ELD 屋根隙間隠し A 1	ELD 下枠側 A2.0 (右) 1	LM 5-1004
ELD 屋根隙間隠し B 1		部材名 数量
取手 (大) 1	●柱 LM5-0401	部材名 数量
T 型レンチ 1	部材名 数量	●鼻隠し LM5-1101
ボルト M6 x 15 (白) 90(5)	ELD 柱前 HD- 右 1	部材名 数量
組立説明書 1	ELD 柱前 HD- 左 1	ELD 鼻隠し前 A1.0 1
取扱説明書 1	ELD 柱後 L 2	ELD 鼻隠し後 A1.0 1
保証書 5 年 1	ELD 間柱側中 2.0L 2	

※ () 内は予備

●上枠前後 LM5-0201	●補強 LM5-0502	●扉 LM5-1701
部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量
ELD 上枠前 HD-A1.0 1	ELD もや A-A1.0 DLK 1	ELD 扉 HD 1
ELD 上枠後 A1.0 1	ELD 床補強 A1.0 1	

●下枠前後 LM5-0251	●床 LM5-0711
部材名 数量	部材名 数量
ELD 下枠前 HD-A1.0 1	ELD 床板 A2.0 2
ELD 下枠後 A1.0 1	
ELD 床押え A1.0 2	

○部材名称にはA1.0,A2.0等の長さを示す記号が付いた部材がありますが、説明文中では省略してあります。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 6ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上) 4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・ドライバー

●使用ビス一覧



●アンカー工事について

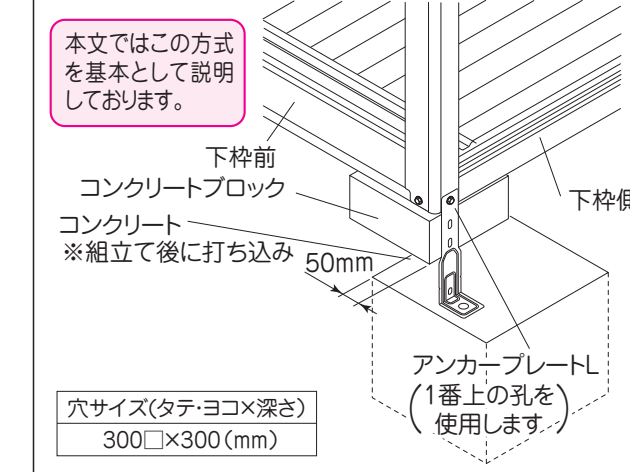
アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。



内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

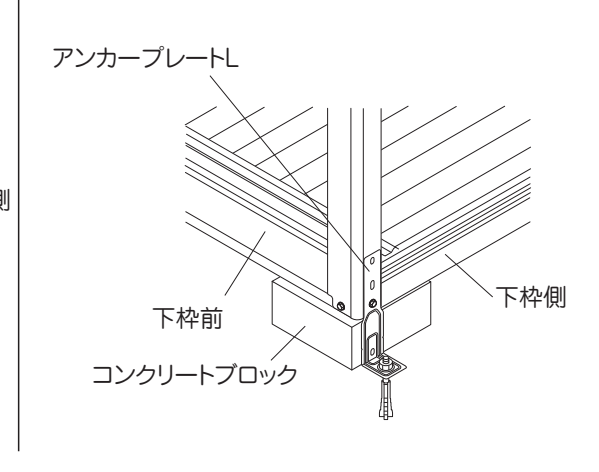
《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



《コンクリート床の上に設置する場合》

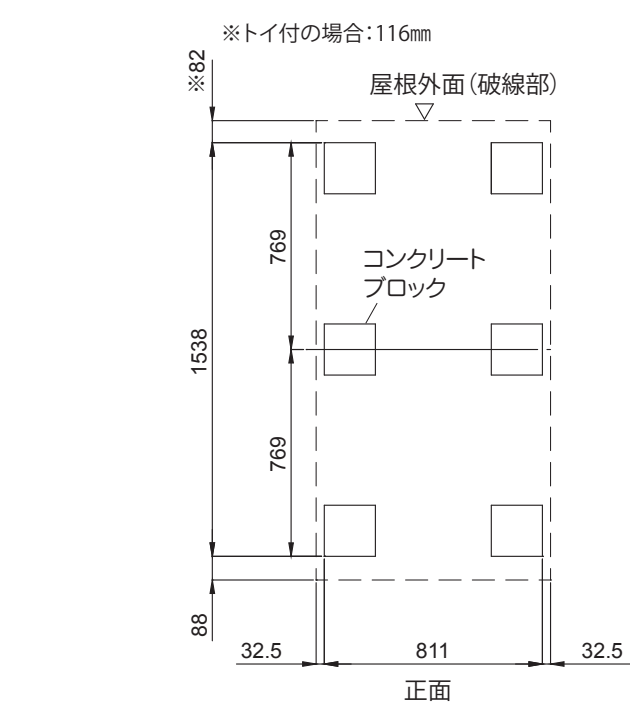
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上)で固定してください。



△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

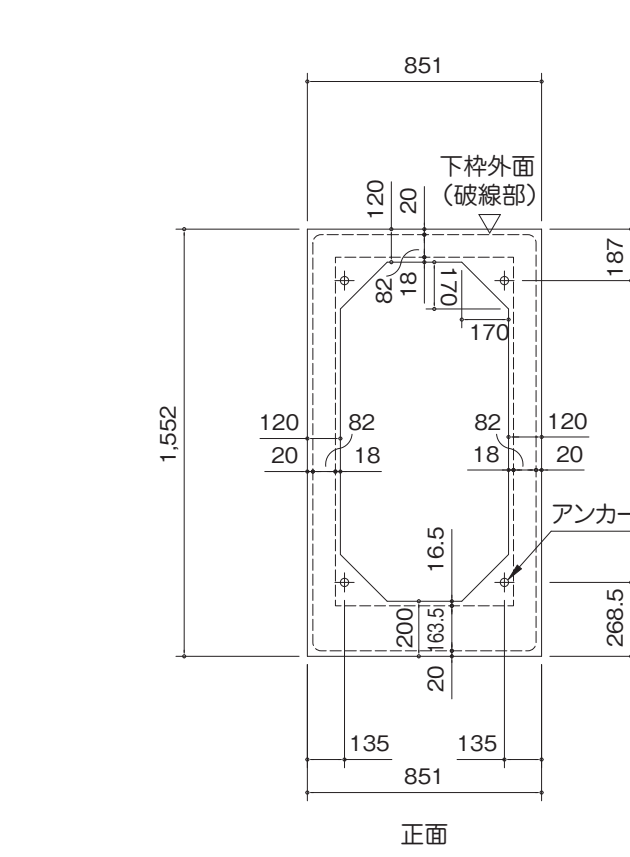


基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉が閉まらない。



内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。
内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にお読みください。

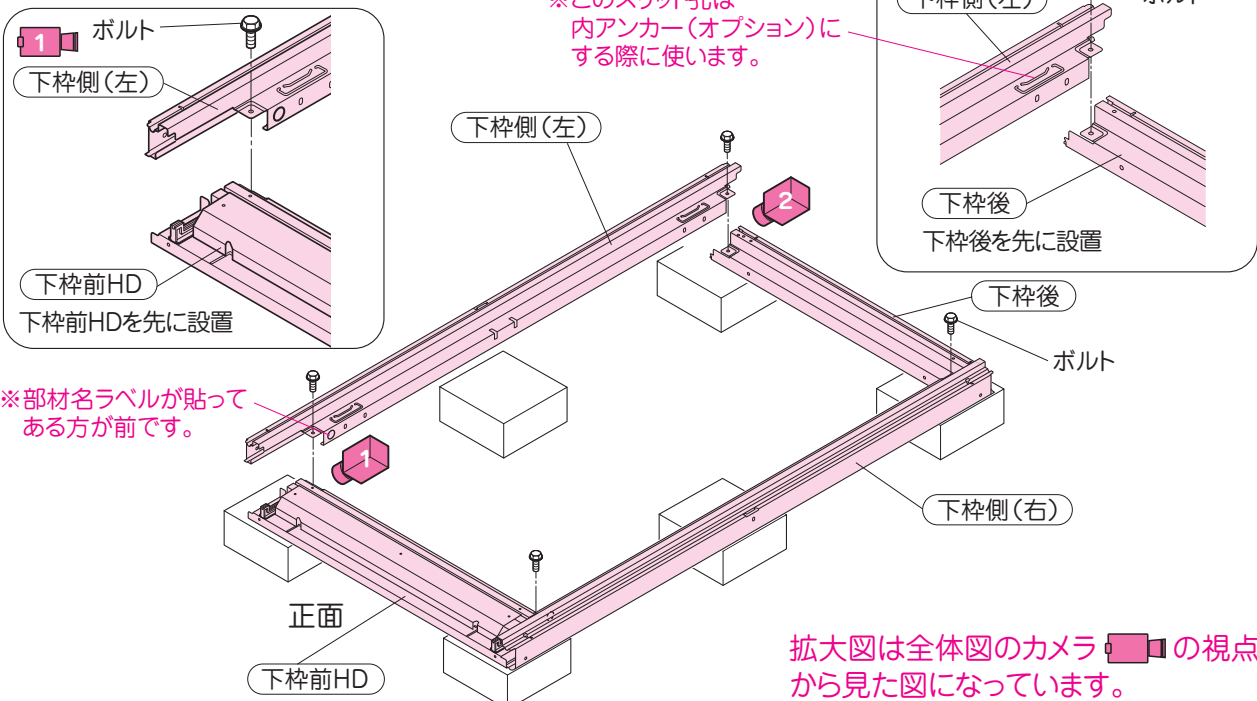
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

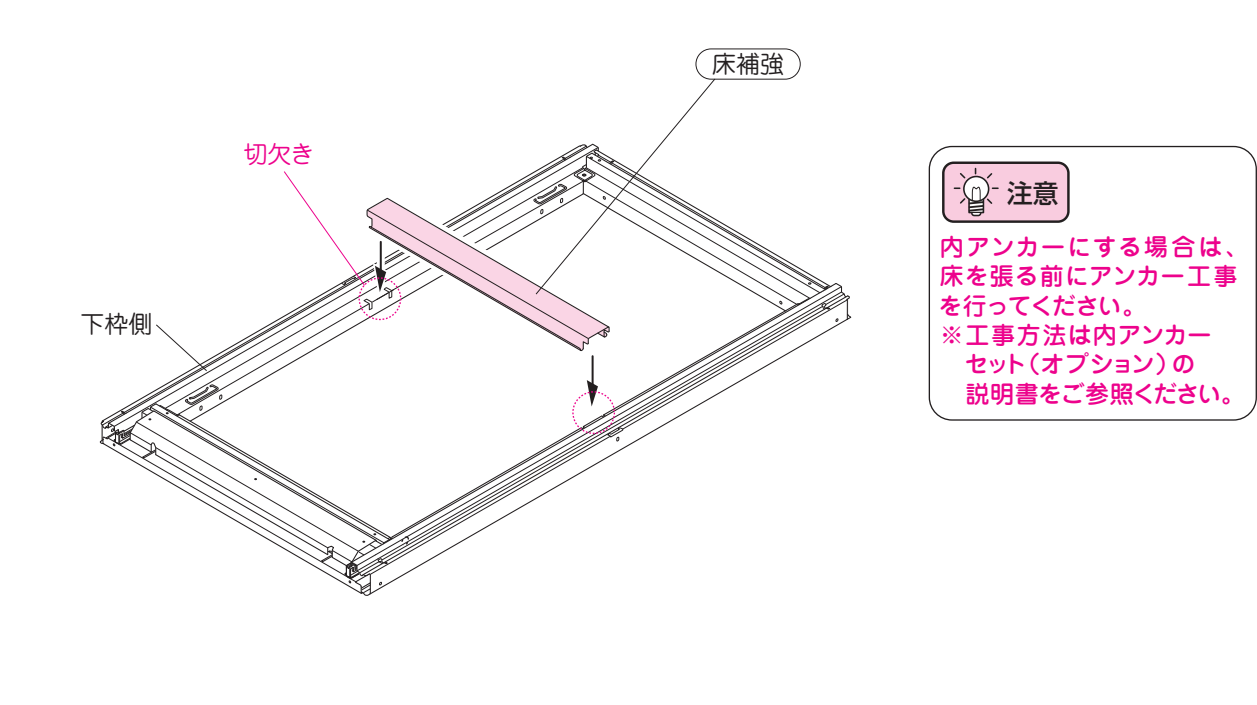
2 下枠の組立

- ① 下枠前HD・下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ② 下枠側)を 下枠前HD・下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。1 2



3 床補強の設置

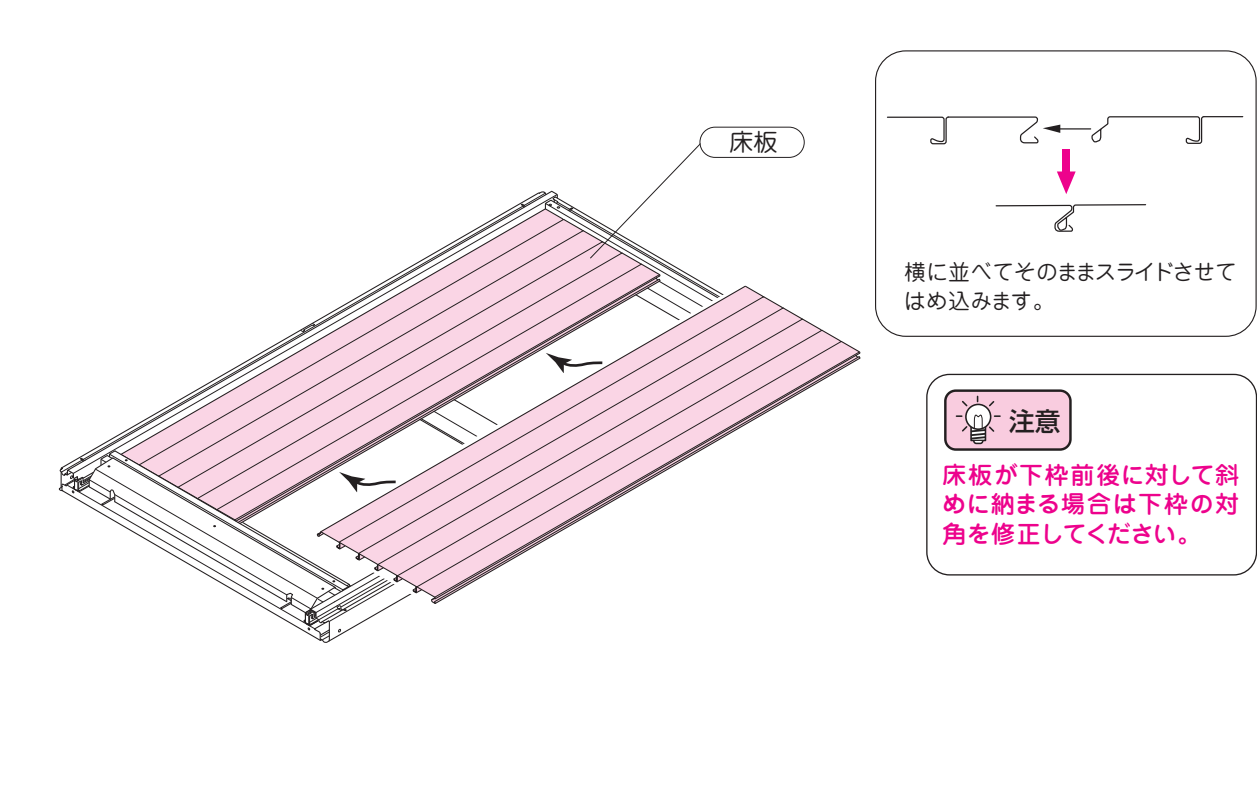
- ① 床補強)を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。



内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット(オプション)の説明書をご参照ください。

4 床板の取付け

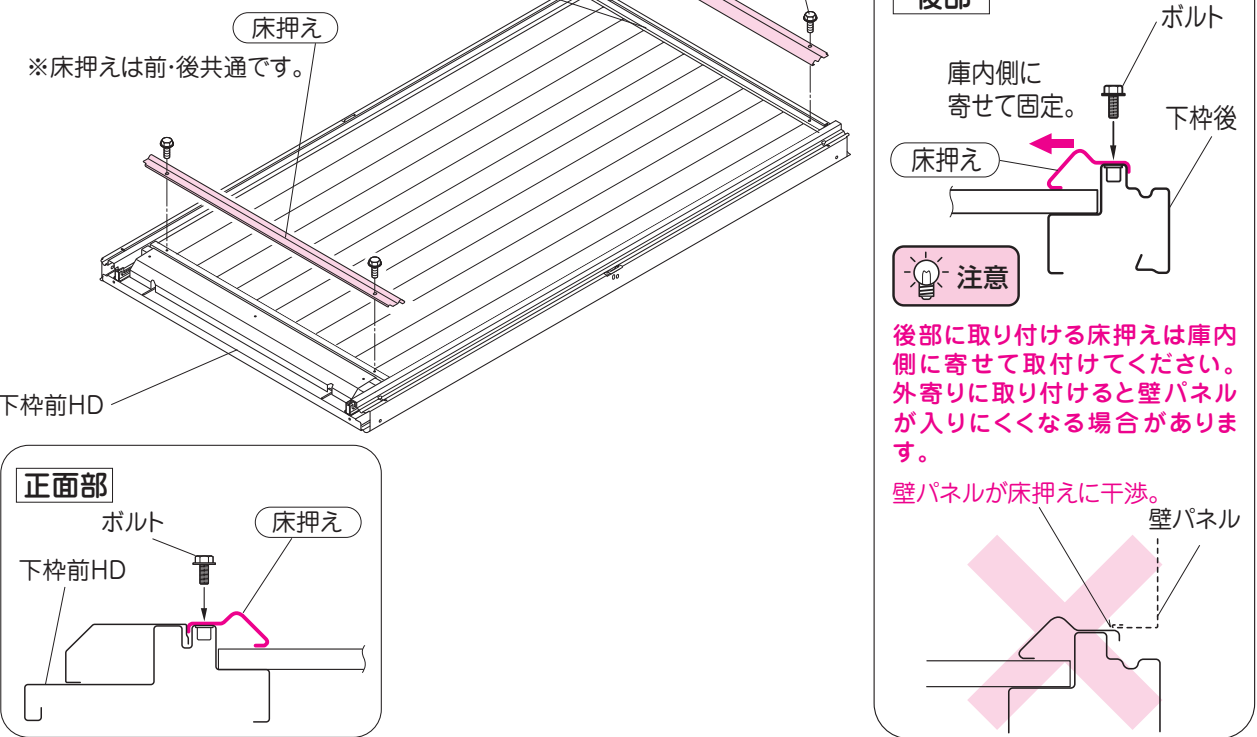
- ② 床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べます。



床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

5 床押えの取付け

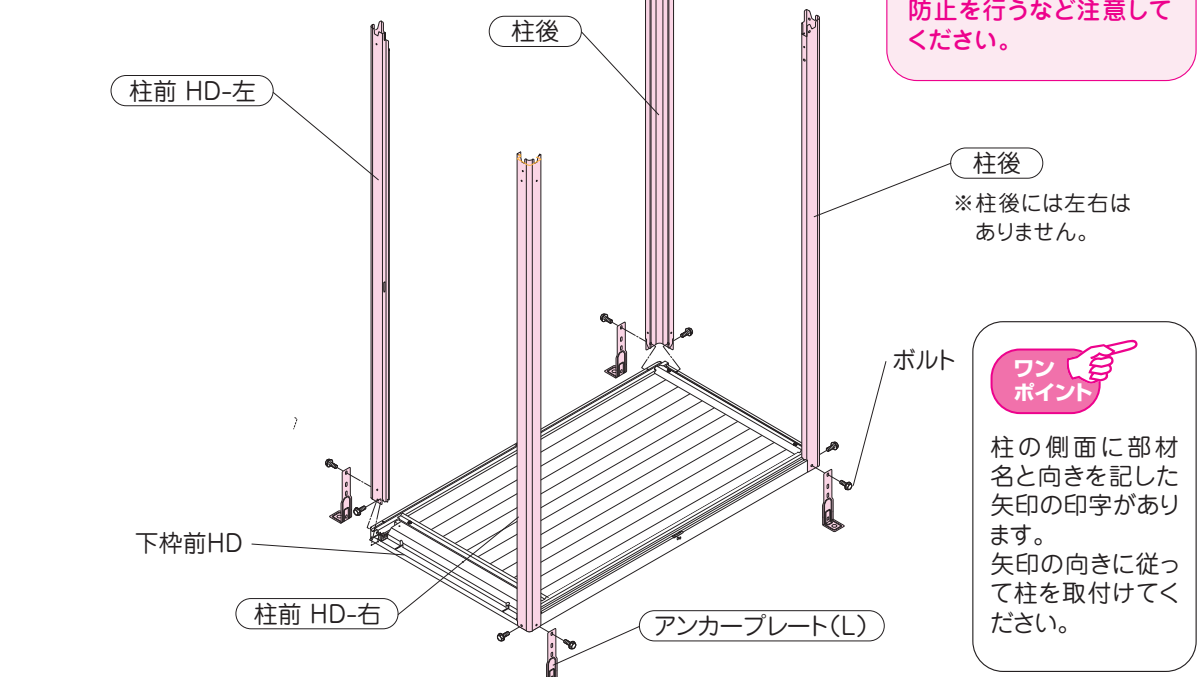
- ① 床押え)を下枠前HD・下枠後に取付けます。



後部 庫内側に寄せて固定。
床押え 床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取付けると壁パネルが入りにくくなる場合があります。
壁パネルが床押えに干渉。

6 柱の取付け

- ① 柱前HD・柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を側面にボルト止めします。



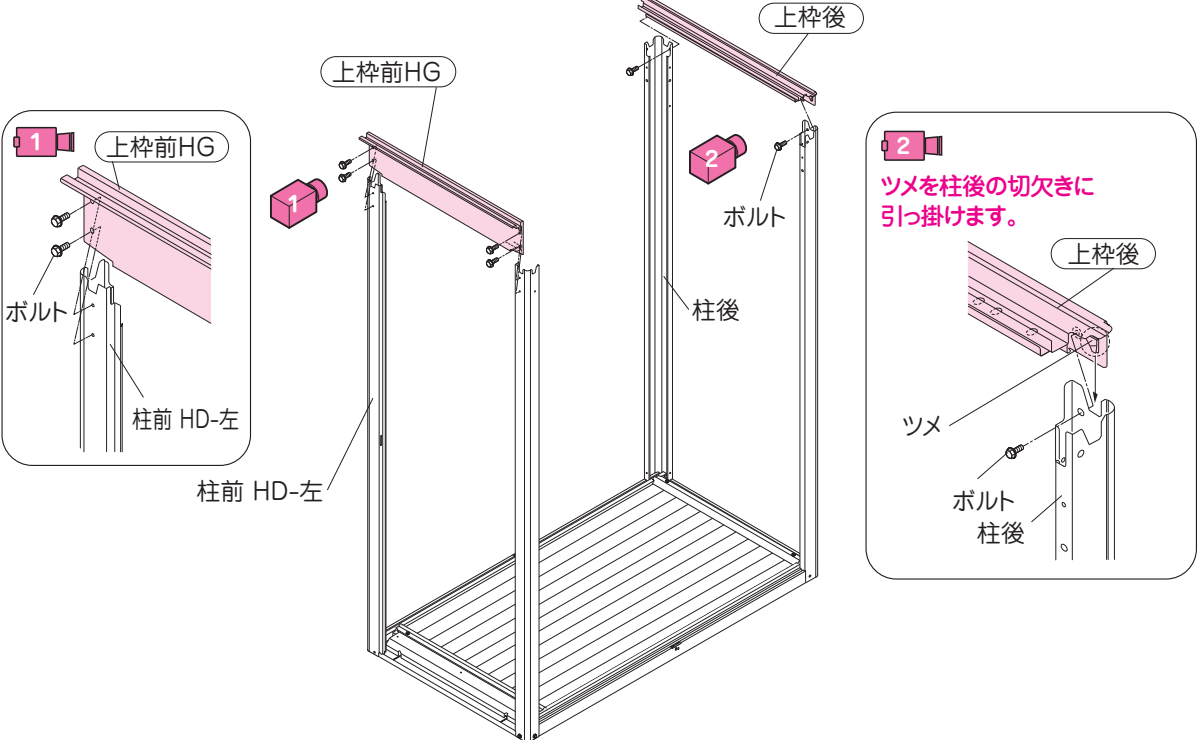
△注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。



ワンポイント 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

7 上枠前後の取付け

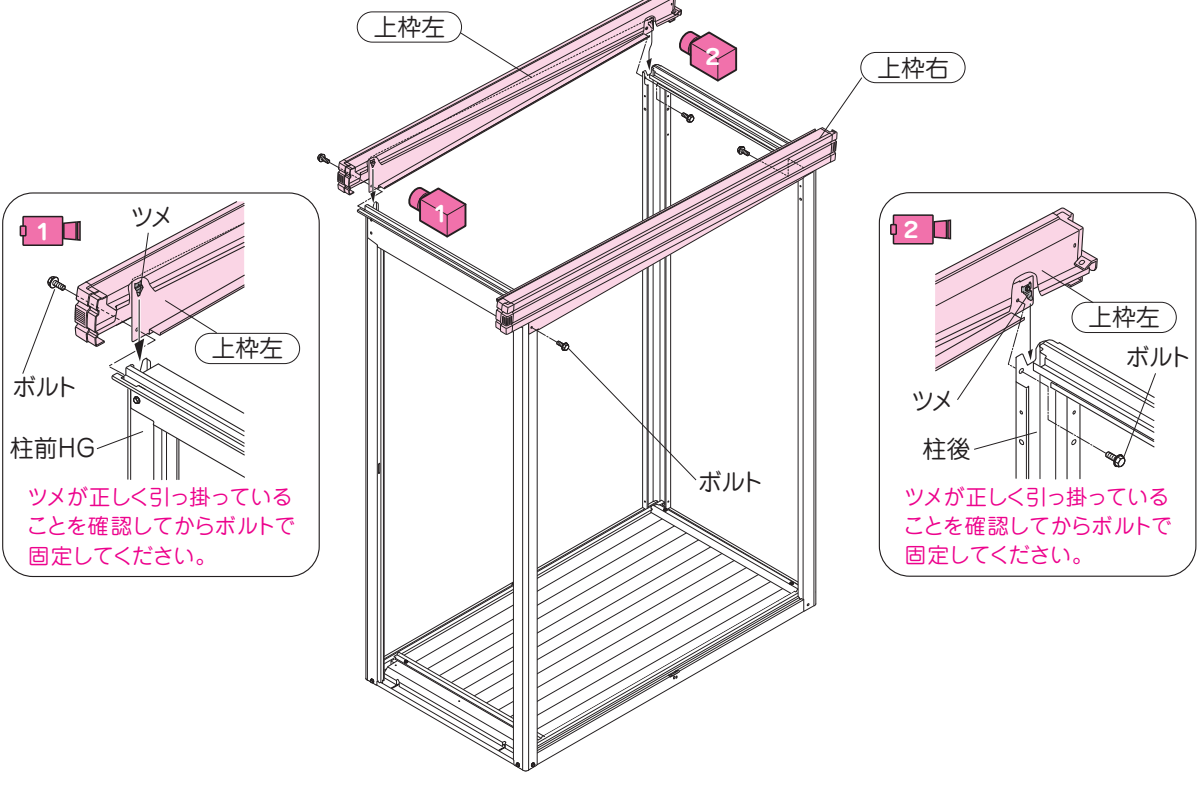
- ① 上枠前HG)を柱前HDのツメを切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。1
- ② 上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。2



ツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてください。

8 上枠左右の取付け

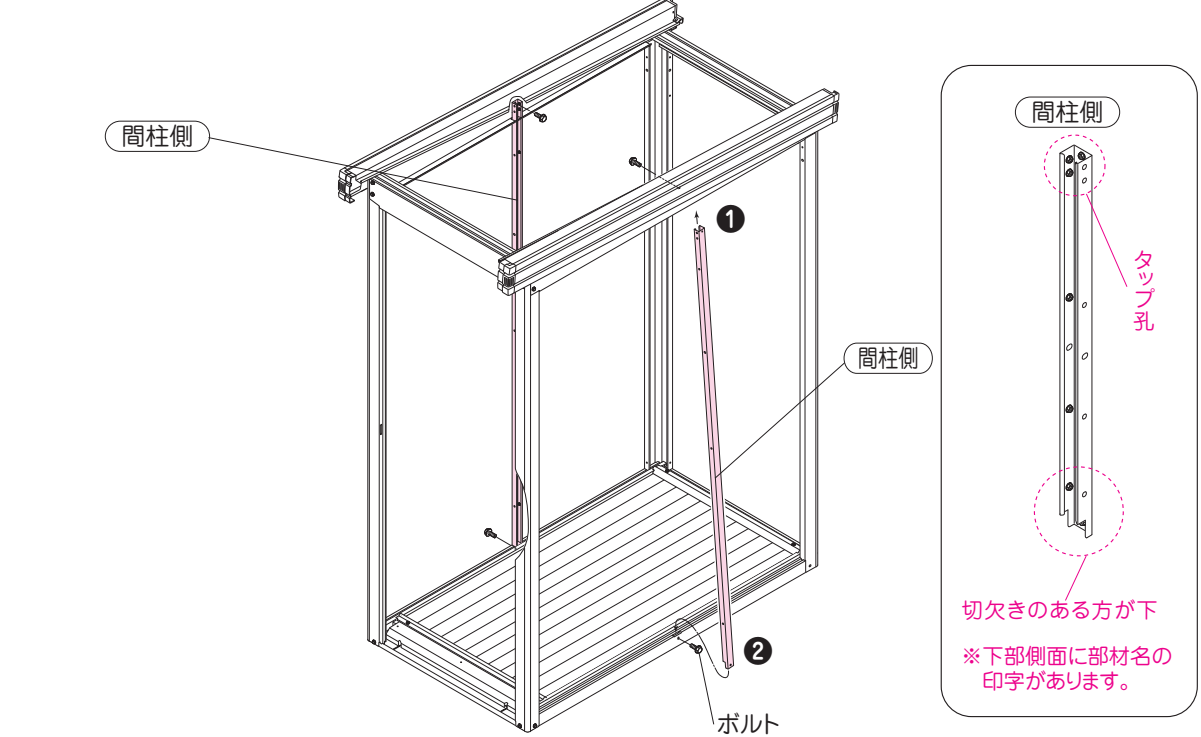
- ① 上枠左・上枠右)を柱に取付けます。1 2



ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。

9 間柱側の取付け

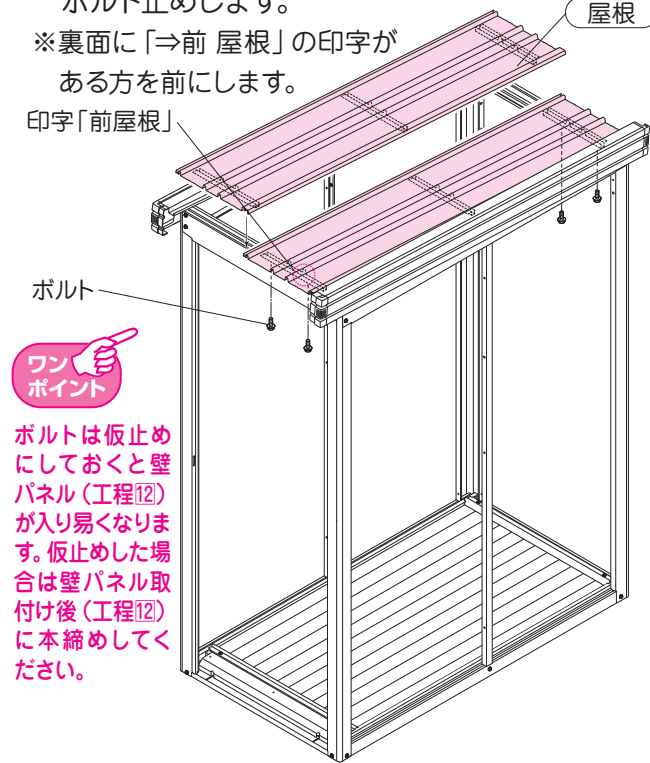
- ① 間柱側)の上端を上枠左・右に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。



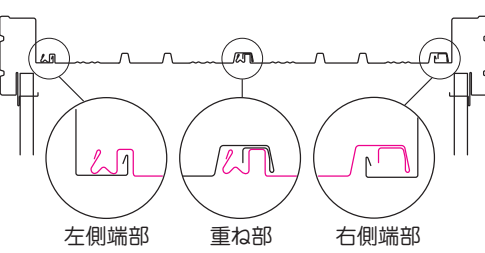
切欠きのある方が下 ※下部側面に部材名の印字があります。

10 屋根の取付け

- ① **屋根** を右端から載せて上枠前HG・上枠後とボルト止めします。



△注意
屋根は正しく載せてください。正しく載せない
とボルトの固定孔が合わなくなります。
また漏水の原因にもなります。



枠前HG

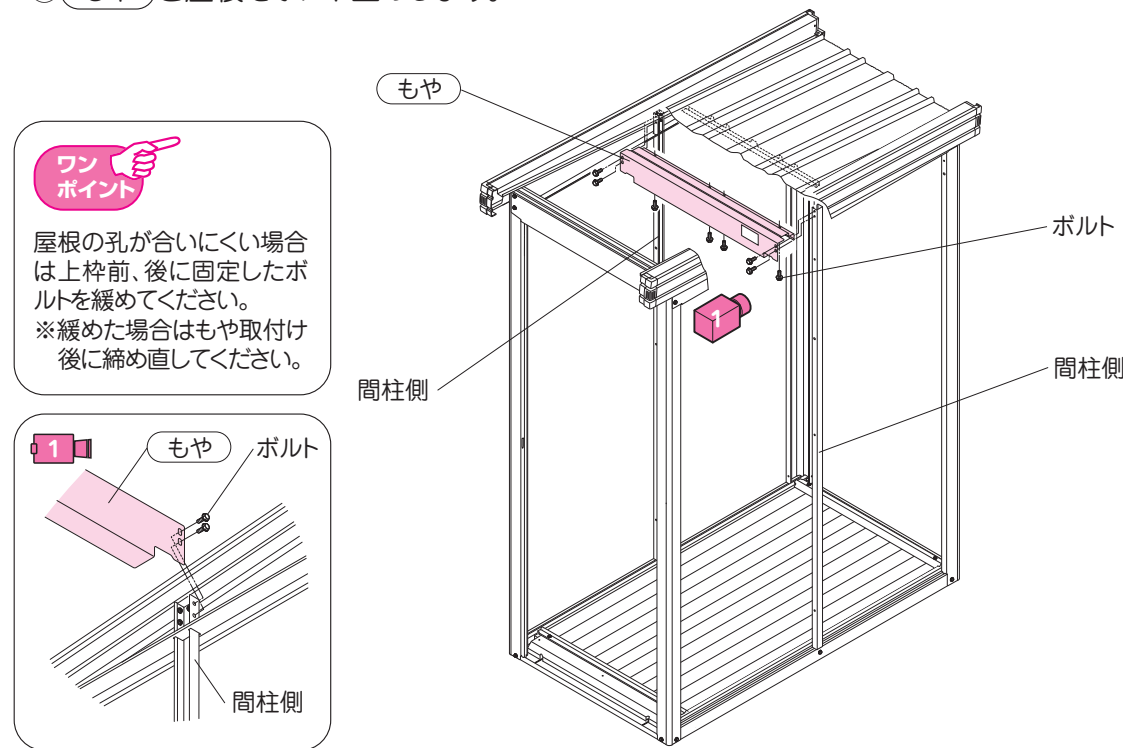
2m以内から屋根を載せてください。

尾垂れが付いている方が後です。

上枠後

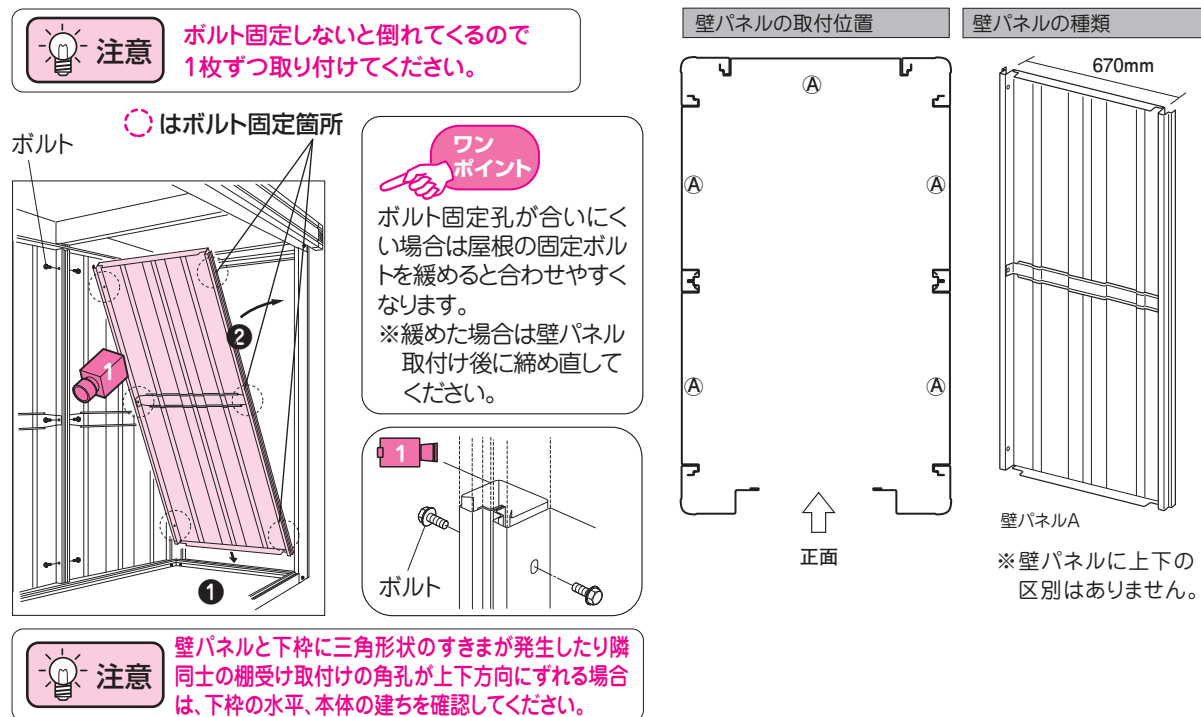
11 もやの取付け

- ① **もや**を正面から間柱側に載せてボルト止めます。 1
- ② **もや**と屋根をボルト止めます。



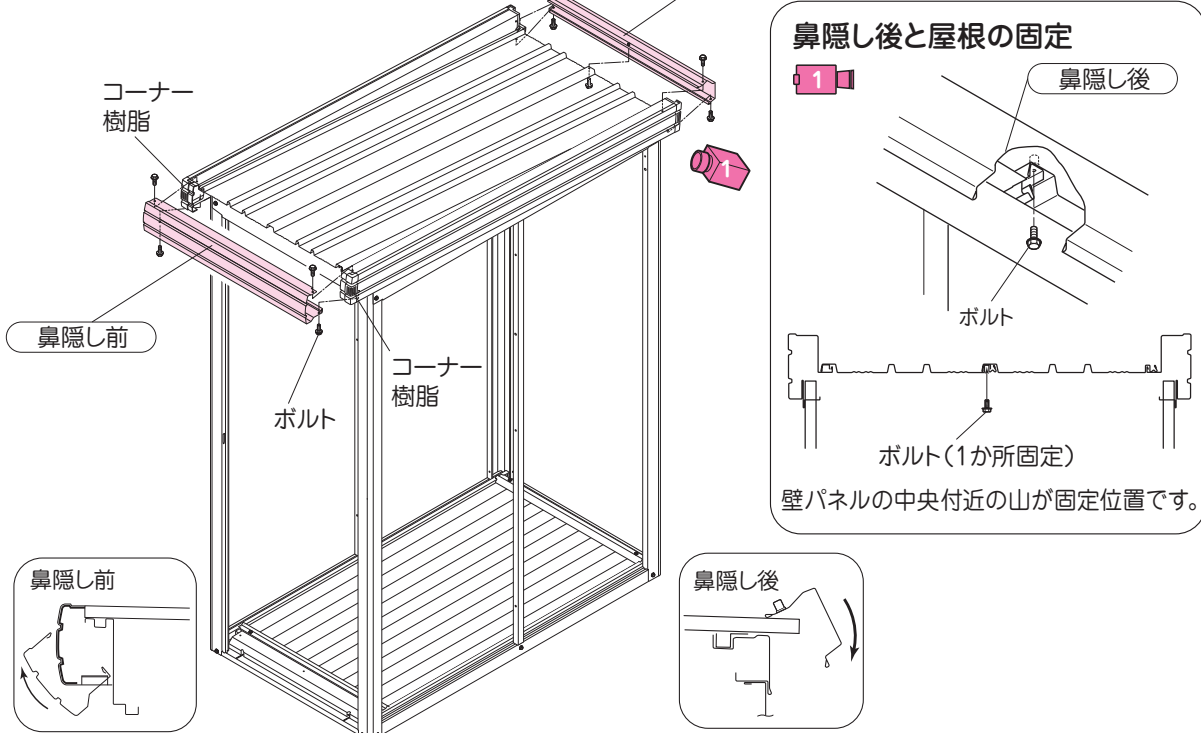
12 壁パネルの取付け

- ①室内から壁パネルをはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
②柱・間柱にボルト止めします。1



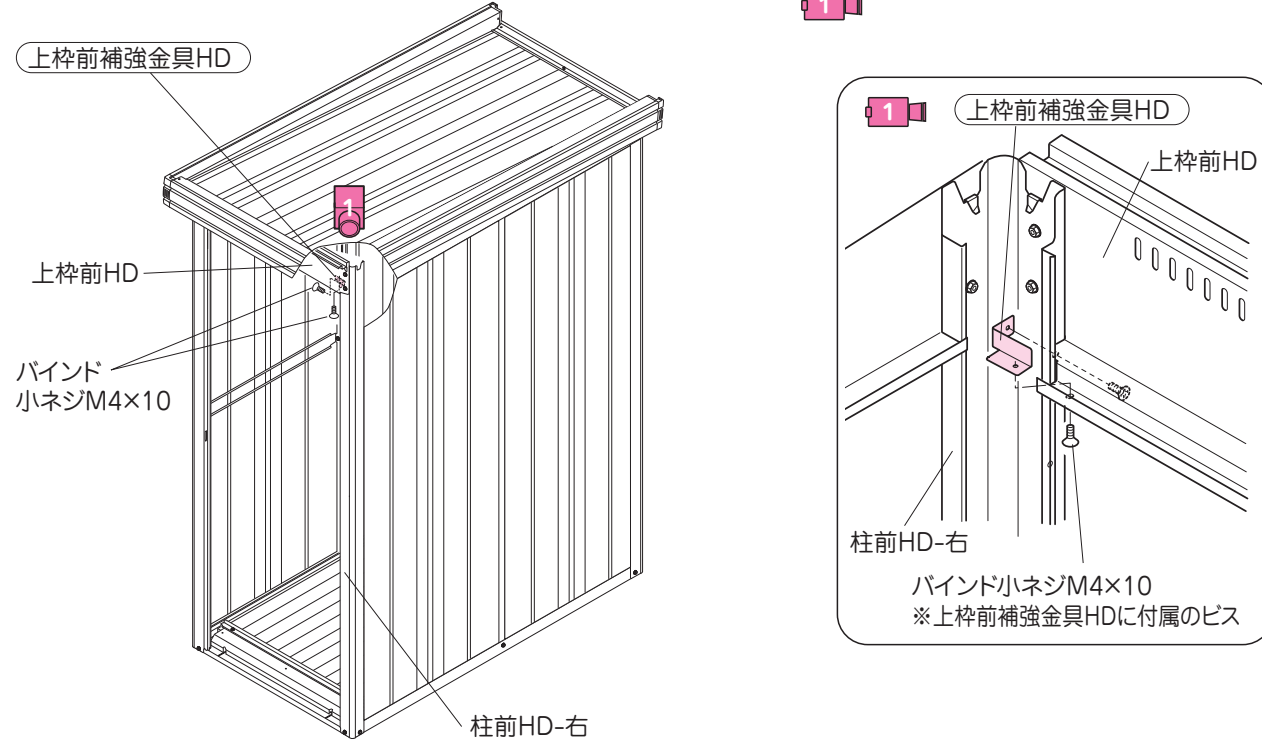
13 鼻隠しの取付け

- ① 鼻隠し前・鼻隠し後を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めます。
② 鼻隠し後と屋根をボルト止めます。 鼻隠し後



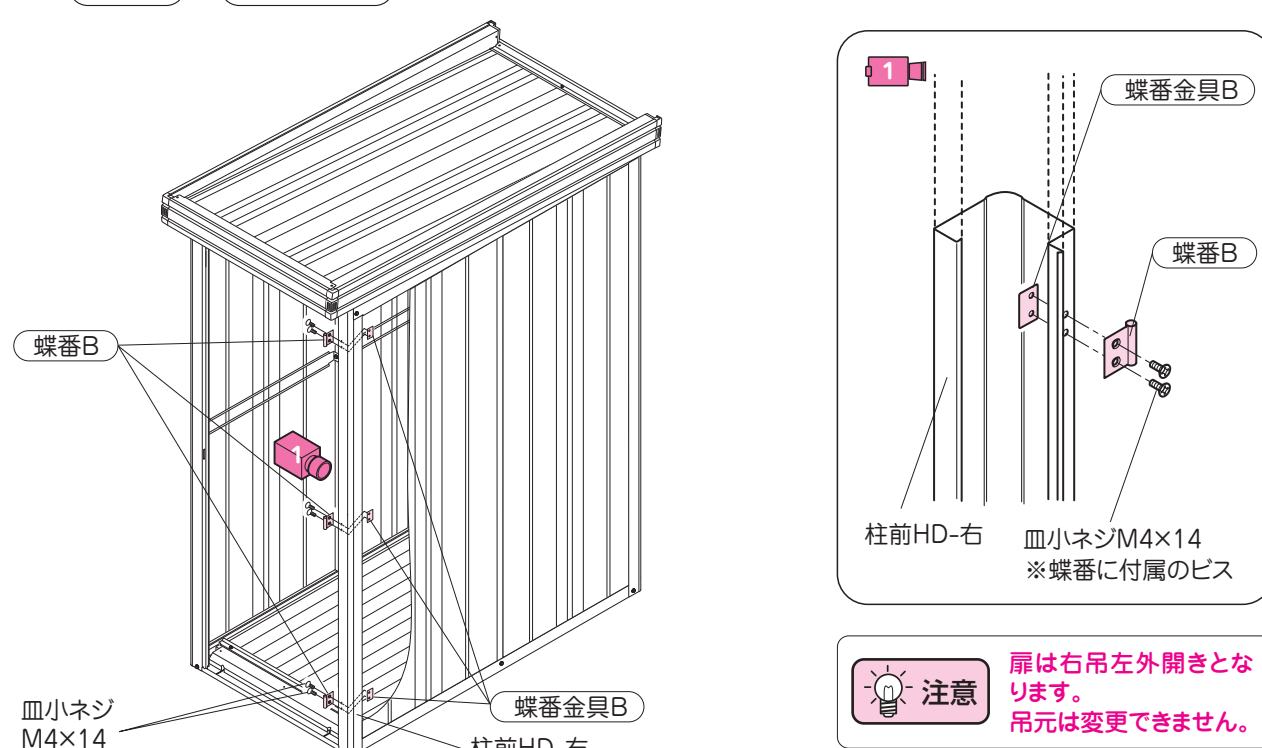
14 上枠前補強金具の取付け

- ① **上枠前補強金具HD** を柱前HD-右と上枠前HDに取付けます。



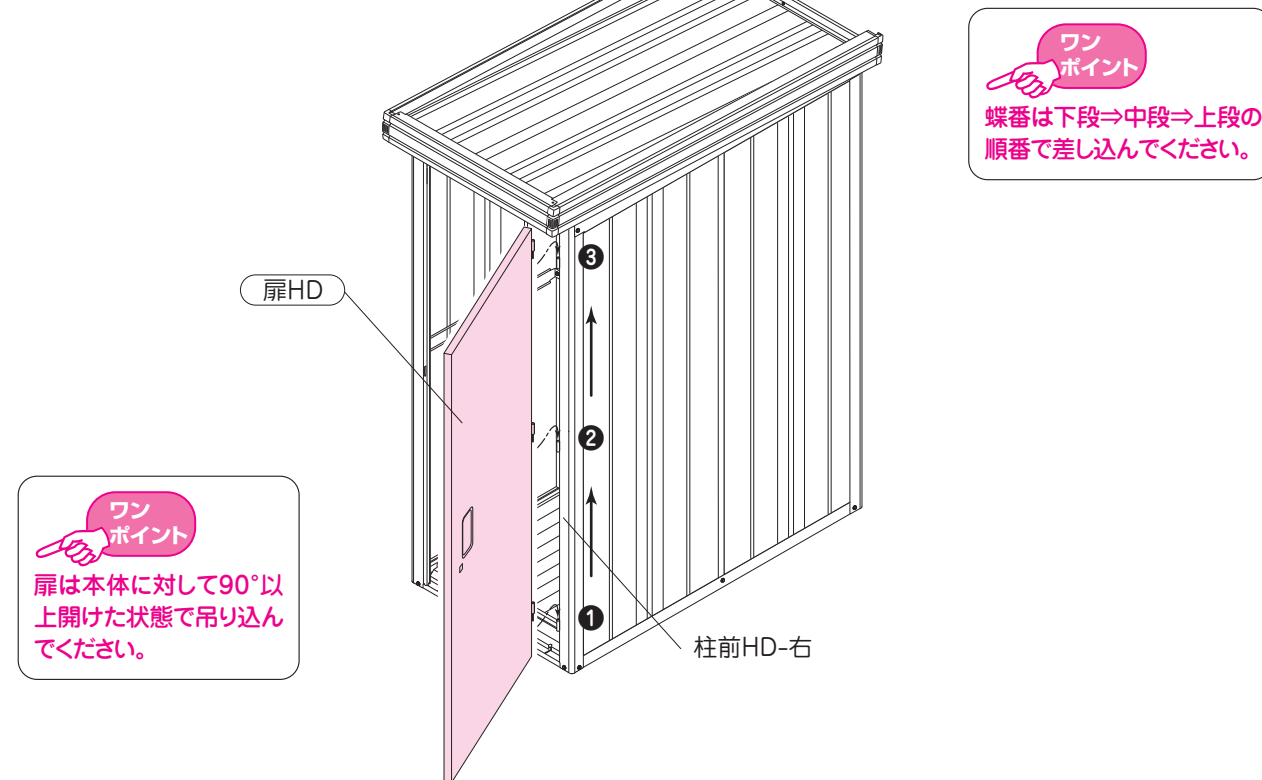
15 蝶番の取付け

- ①蝶番Bを柱前HD-右に取付けます。
※蝶番Bと蝶番金具Bではさみ込むように固定します。



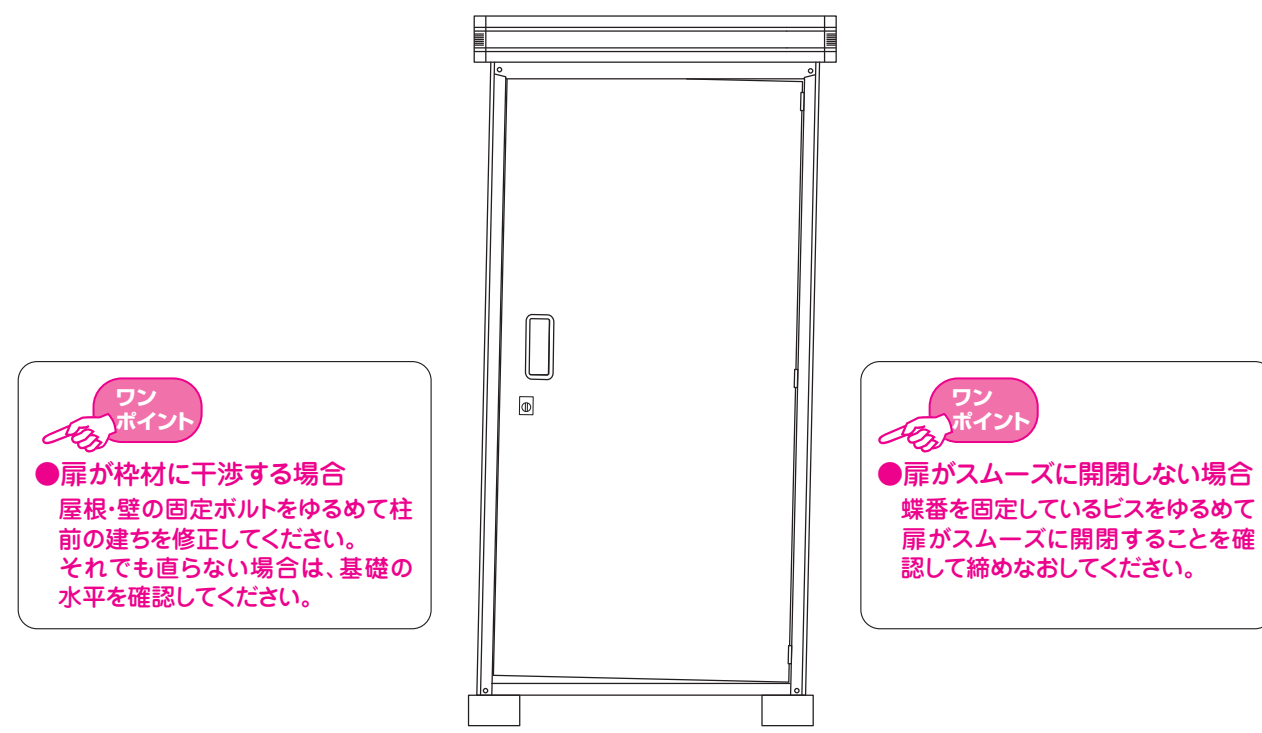
16 扉の吊り込み

- ①(扉HD)を柱前HD-右に吊り込みます。



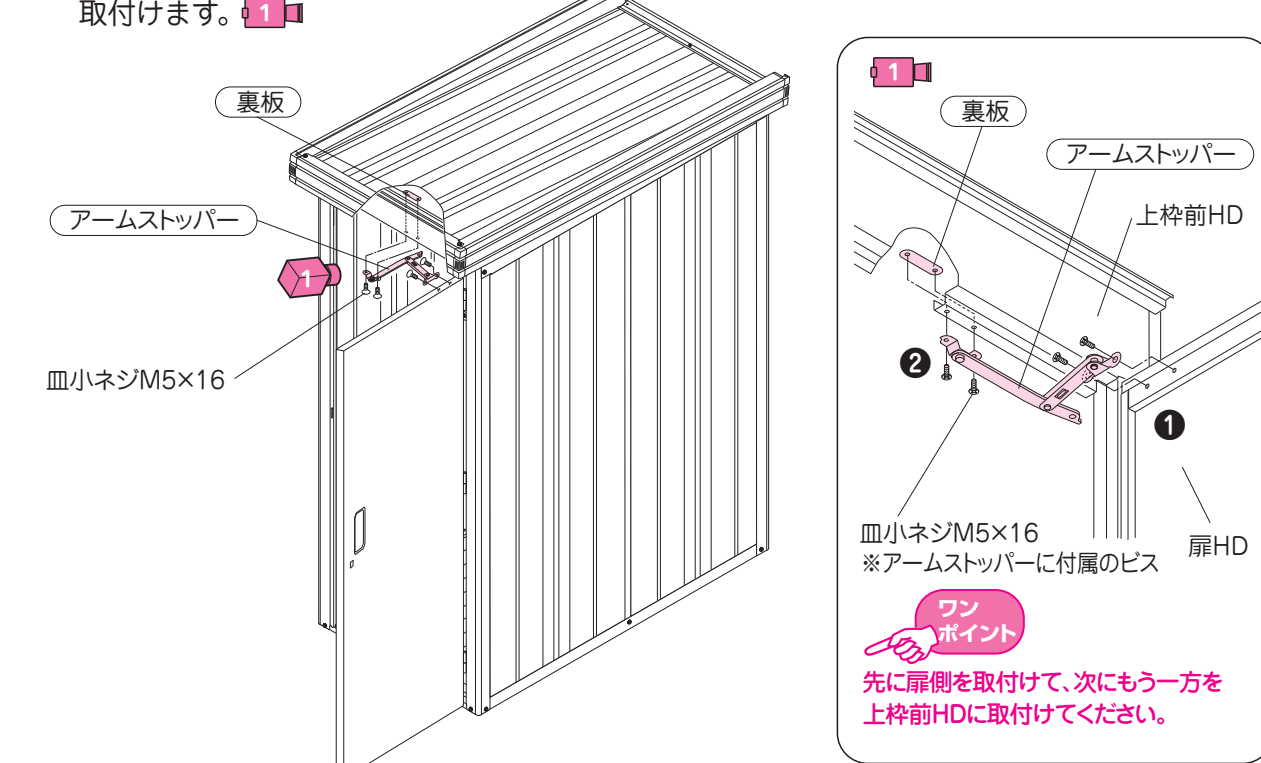
17 扉開閉の確認

- ①扉HDが枠材（柱・上枠・下枠）に干渉しないか確認します。
- ②扉HDがスムーズに開閉するか確認します。



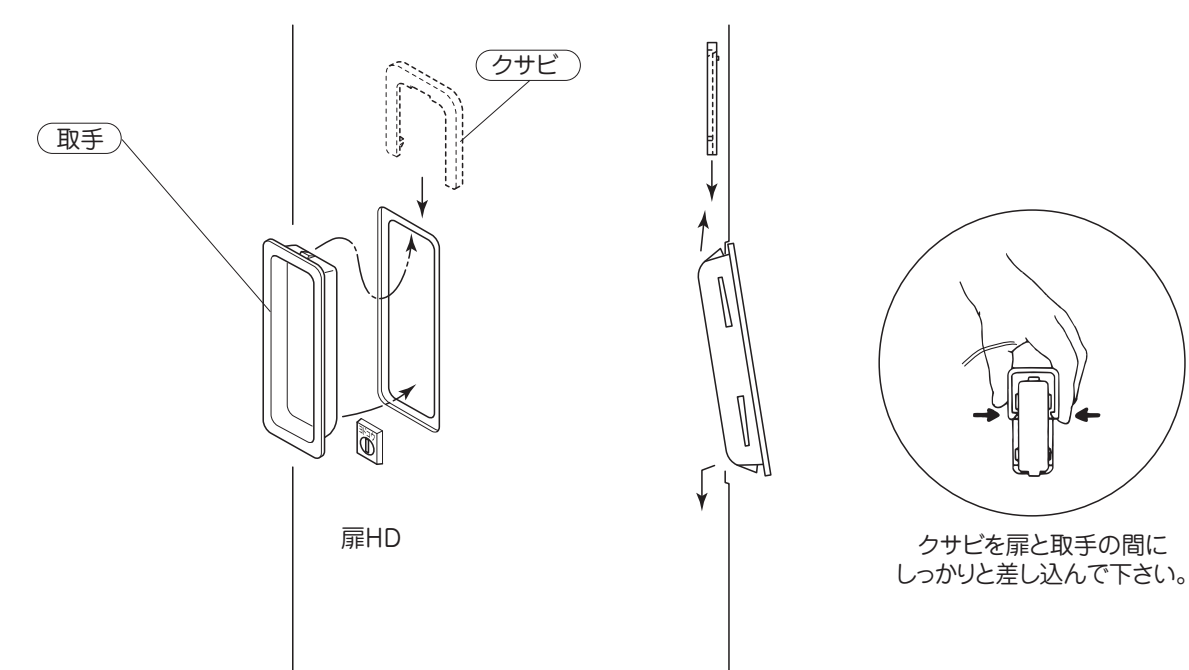
18 アームストッパーの取付け

- ① アームストッパー を扉・上枠前HDに
取付けます。



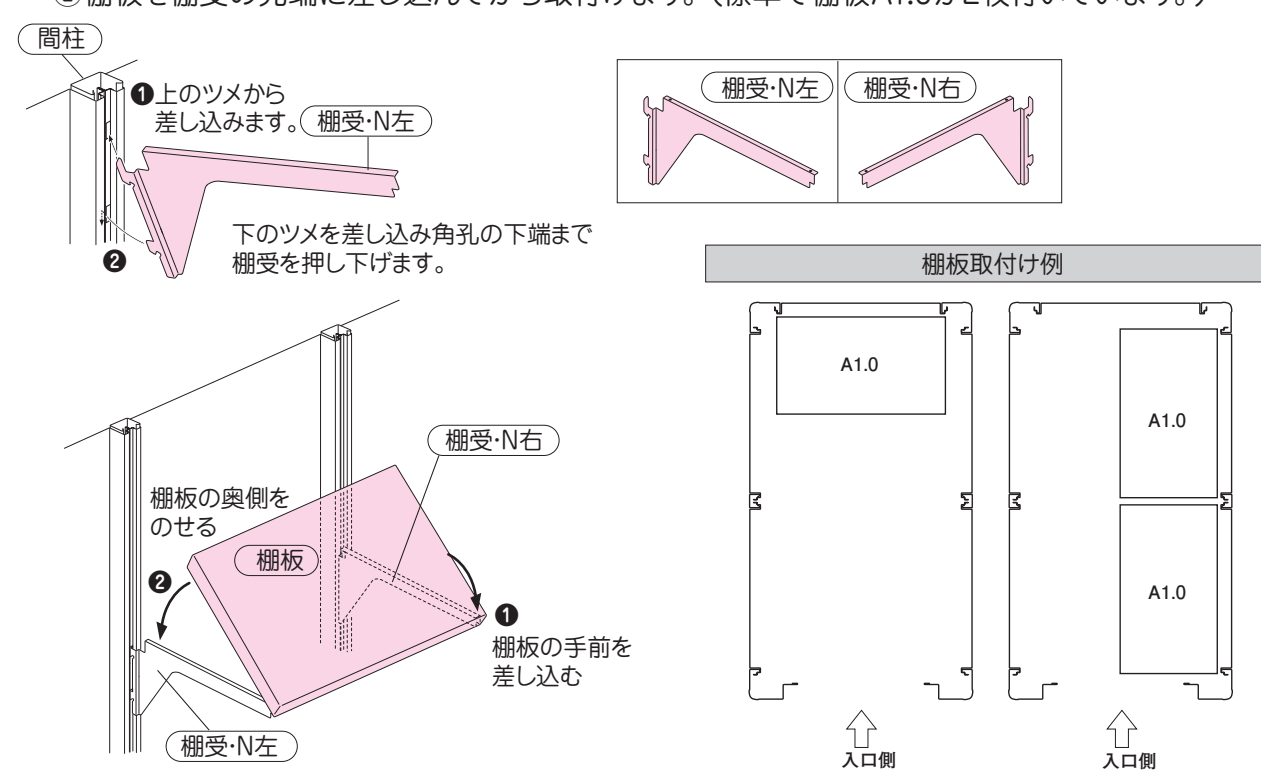
19 取手の取付け

- ① **取手**を扉HDにはめ込みます。
- ②庫内から**クサビ**を差し込んで固定します。



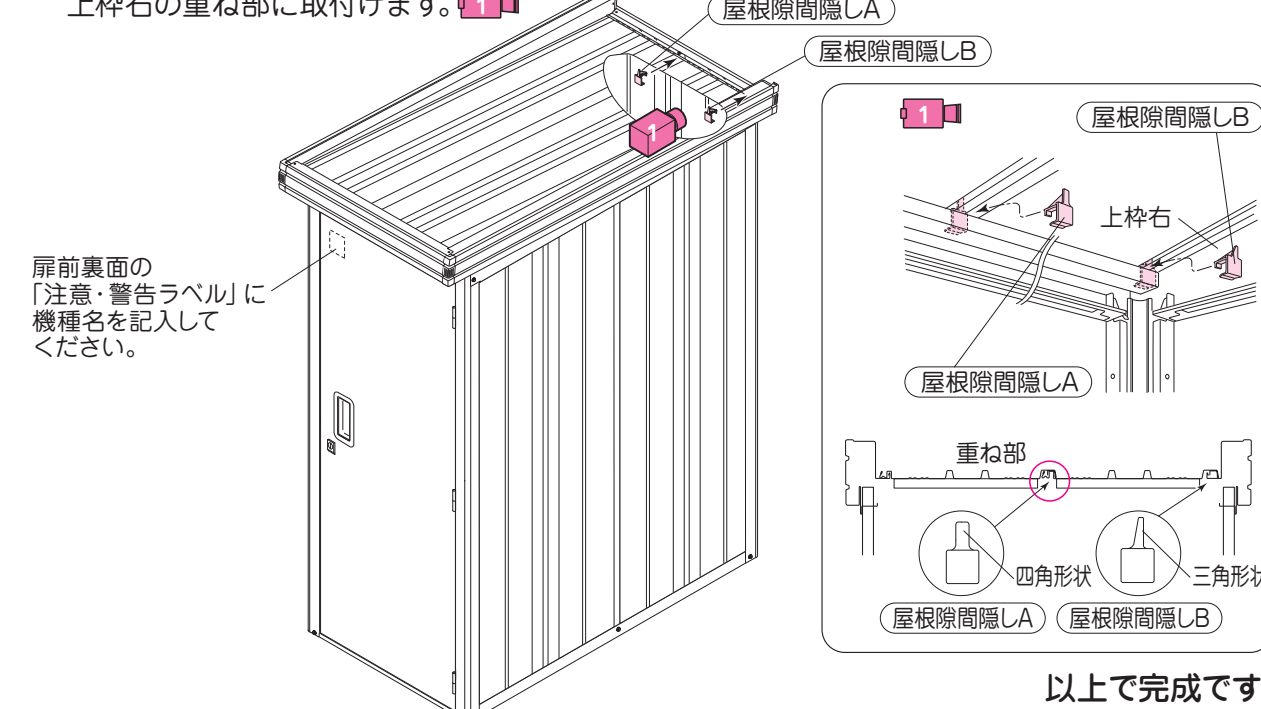
20 棚板の取付け

- ①棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.0が2枚付いています。)



21 その他部品の取付け

- ② (屋根隙間隔しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隔しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。



M E M O

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

- ①扉の開閉がスムーズにできるかご確認ください。
- ②鍵が正常に作動するかご確認ください。
- ③棚板の配置確認をしてください。
- ④機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)
- ⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

チェック欄

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。
 本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(0815)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2020年A制作)